

令和８年度 市民と議会の意見交換会（要旨）【午前】

- 1 日 時 令和８年５月２４日（日） 午前１０時００分～１１時０５分
- 2 会 場 胎内市役所 委員会室
- 3 参加者 ６人（午前２人、午後４人）
議員 ５人 笈智也、坂上清一、渡辺宏行、小野徳重、渡邊雅茂
- 4 テーマ (1) 防災について
(2) 選挙の投票環境（高齢者・若者対応）について
(3) 市の情報発信について

5 意見交換

【主な発言】

（１）防災について

委員長より現況の概要説明

○参加者

滅多にはないが、過去に市内大手工場でガス漏れが発生し被災した経験がある。事故災害を想定した工場独自の訓練は近隣にも告知され行われているようだが、地域と合同で訓練するところまではいってない。市の対応はどうか。

⇒議員 万が一の災害を想定した訓練など区長さんをはじめとして近隣と共に考えることは必要と思う。

⇒議員 消防から指導は行うが、実際には難しい面がある。市民は消火活動よりも避難が優先されるので、速やかに正しい情報が発信されることが必要だ。

⇒議員 工場の近隣自治会や自主防災組織が工場と合同で工場災害を想定した避難訓練を行うということは、大切なことだと考える。

○参加者

近年の豪雨により側溝から水が吹き上がるなど、処理能力が悪いところが多いと感じる。また、若松町などは地盤が低いのかすぐに冠水してしまうので、改善されると良いと思う。

⇒議員 若松町などの冠水被害対応について、我々市議も市に改善を求めている、昔は降った雨が自然透水できるほど地表面があったものが、住宅の普及により自然透水ができにくくなり、低い場所に集まってしまうとのこと。また、羽越本線の線路で水の抜け道が遮断されていることも理由の一つとの説明があった。その後、透水升の設置や側溝の入替工事など、冠水被害の多い地域を中心に改善を行っている。

⇒議員 若松町については、ポンプの処理能力の向上や升の改善などで、最近落ち着いているようだ。そことは別に、近年は新栄町交差点などに被害が出て

いる。県でも現地調査を行うなど見直しが始まっている。

(2) 選挙の投票環境（高齢者・若者対応）について

委員長より現況の概要説明

○参加者

若者の投票率を示してもらうことはできないか。投票したという気運を作れば良いのではないか。

⇒議員 年代別の投票率のデータは公表している。現在投票権が 18 歳に引き下げられたため、高校生など最初は投票に行くようだが、年を重ねるごとに投票から遠のく傾向にあるようだ。

⇒参加者 投票率のデータを公表・周知していけば市民は関心を寄せるのではないか。

⇒議員 年齢別に加え、18 投票所ごとの投票率もデータとしてある。

⇒議員 30 代・40 代の子育て世代にもっと関心を持ってほしい。そういった年代を狙って PR していく必要がある。

(3) 市の情報発信について

委員長より現況の概要説明

○議員

市発信の SNS について、フォローしたり閲覧することはあるか。

⇒参加者 フォローはしていないが、入札情報や議会関係などについてホームページを見ることがある。冬になると除雪の関係で見ることが多い。

⇒参加者 ホームページを見るくらい。フォロワー数を聞いてそんなに多いのかとびっくりしている。

⇒議員 若い世代は文字ばかりの情報より流れてくる写真や映像などを見ることが圧倒的に多い。最近では、チューリップフェスティバルのインスタが多く配信され、現状や今後の予定など、様々な情報発信がなされていた。フォローはしてなくても見てもらえているようだ。

○議員

市報について、年配の方は読み返せる紙媒体に安心感があるようだが、実際に紙媒体は見ているか。

⇒議員 1 日号と 15 日号のおしらせ版と月 2 回発行されているが、これに対してどう思うか。おしらせ版は必要か。

⇒参加者 私はこの発行回数に慣れているからこのままでよい。

⇒参加者 うち、あまり目にすることはない。

⇒議員 活字離れが顕著で、最近は新聞を取らない家庭も増えている。

○議員

議会だよりでの一般質問の割り当ては、現在一人1ページだが、本人が良かれと思ってまとめた内容以外のことに興味を持たれるなど伝えきれない場合がある。見る側と出す側の想いや、関係はどうあるべきかということも、これから考えていかなければいけないのかもしれない。

⇒議員 議会本会議の様子は、Youtube で全て公開している。議会モニターからの意見で、キャプチャー機能により見出しが入るように改善され見やすくなっている。

(4) その他

○参加者

建設予定の生涯学習施設について、事業者の選定を公募型プロポーザル方式で実施するなど、市内業者が参加しにくくなるのか教えてほしい。

⇒議員 契約候補者を選定する入札方式の一つで、価格だけでなく提案内容や専門性を総合的に評価するもの。

⇒議員 アドバイザリー契約をすることで設計段階から様々な意見を盛り込んでいく。その後の運営計画も策定し、将来的な管理運営を見据えた効率的な施設整備を図ることを目的としている。

⇒参加者 指定管理も含めてとなると管理運営は民間となるのか。

⇒議員 指定管理はあとからになるが、アドバイザリー契約を締結した業者も入札に参加できるということ。市内の業者が選定されるのは難しいかもしれない。

⇒参加者 この話が出始めたときに、民間企業に建設から運営までやってもらうという話があったと覚えているが。

⇒議員 PPP や PFI がそれに当たる。

令和８年度 市民と議会の意見交換会（要旨）【午後】

- 1 日 時 令和８年５月２４日（日） 午後１時３０分～２時５０分
- 2 会 場 胎内市役所 委員会室
- 3 参加者 ６人（午前２人、午後４人）
議員 ５人 笥智也、坂上清一、渡辺宏行、小野徳重、渡邊雅茂
- 4 テーマ (1) 防災について
(2) 選挙の投票環境（高齢者・若者対応）について
(3) 市の情報発信について

5 意見交換

【主な発言】

（１）防災について

委員長より現況の概要説明

○参加者

避難場所について、中条中学校体育館など、夏は暑すぎて熱中症の可能性、冬は寒すぎて低体温症の可能性がある。改善する考えはあるのか。

⇒議員 我々市議からも執行部に対して申し上げているし、昨年７月には総務文教常任委員会で、体育館にエアコンが設置されている群馬県太田市に行政視察に行き、複数人が一般質問で取り上げており、今年度より計画推進に向けた動きが始まっている。中学校再編もあるため、小学校５校について基本設計行っていくとのこと。

⇒議員 今後中学校統合になったからと言って現存する中学校体育館が避難所でなくなるようなことは考えづらく、何かしらの対策を講じると思われる。寒さへの対応は暖房器具の持ち込みなどで対応できるが、暑さについては難しい。現に学校の体育授業などは暑さ指数などを基準に先生方が対応しているらしく大変である。

⇒参加者 避難所に避難するほどの激甚災害等になった場合、自衛隊はどれくらいで到着するのか。

⇒議員 自衛隊への要請は市町村から県、その後県からの要請で動き出す。そのような状況になれば、即対応すると思われる。

⇒参加者 避難指示の際、高齢者などへの対応は市か消防か。

⇒議員 市としても全てを賄うことはできないので、現在各自治会の自主防災組織にそういった対応に向け準備いただいている。自助共助の考えとなっている。

※補足 大雨等における災害対応として、事前の自主避難の際に家族・親族などの

手助けが必要、又は一人で避難できない方は、自主防災組織の協力により個別避難計画を作成。

○参加者

町内で自主防災組織を結成したが、運営や活動が難しい。市内の自主防災組織の集まりなどの際、どういったことをやるかなど、実践的な話し合いやアドバイスなどがあると良いのではないかな。

⇒議員 自主防災組織が結成し始めた際に、市から各自治会へ出向いて説明した。その後、時間が経過し各自治会で役員の改選などにより、伝搬できていないなど難しい問題もある。今後の一つの課題であろう。

⇒議員 例年9月末頃にぶれすば胎内で実施される市総合防災訓練では、集落が自由に参加できる防災訓練体験会なども行われている。

⇒議員 消防などは個人情報を得ることができない。それぞれの自主防災組織にいる防災士に活動いただき、地域に合わせた避難計画を作ってもらいたいというのが市からのお願いである。

（２）選挙の投票環境（高齢者・若者対応）について

委員長より現況の概要説明

○参加者

投票率を上げる方法として、個々の状況が違ふと思うのでアンケートを取って状況把握をすることも一つではないかな。また、サービス券を配布するなどギブアンドテイクもありでは。

⇒議員 投票日に家族と一緒に連れて行ってくれない、期日前投票にしても市役所や黒川支所へ行けないなどの理由の方に、市では、無料でのれんす号を使えるサービスを実施している。

⇒参加者 投票しやすい環境を整備してほしい。障がい者や高齢者に対応してもらえたら。現在私が行く投票所は段差が6段あり足場も砂地で車いすの使用は困難なため、期日前投票を利用している。障がい者は車の乗り降りなども大変なため、通常の投票所に行きたいのだが叶わない。郵便投票という方法もあるのだが、やはり手間がかかる。他市のような移動投票所や出張投票所などがあると嬉しいし、または別のバリアフリーの投票所での投票などできないかな。

⇒議員 係員に伝えれば対応してくれることになっていると思う。

⇒参加者 過去にお願いしたことがあるが、本人が迷惑をかけていることを恥ずかしく感じ、こんな思いをしてまで選挙に行かなきゃならないのかと言っていた。

⇒参加者 期日前投票であれば別の場所で投票が可能だが、投票日では入場券の都合があり、割り当て会場以外の場所での投票はできない。

⇒議員 移動も出張も期日前投票と条件は一緒で、投票日当日は行われぬ。決められた投票所で投票いただくことで、投票所ごとの集計を出している。

(3) 市の情報発信について

委員長より現況の概要説明

○参加者

市が発行する市報などの文章は、ほぼ和暦で書かれているが、西暦への読み替えが大変。新聞などはほとんど西暦なので、和暦の後に括弧書きなどでもよいので西暦記入の対応は出来ないか。

⇒議員 手持ちの最新号を確認すると確かに文章は和暦の表記になっている。表紙やページ下など一部は西暦が使用されている。ただ文章によっては西暦表記がされており、統一性がない部分もある。

○参加者

市の観光情報を職員個人が SNS で情報発信できないか。

(4) その他

○参加者

昨年のこの場の話題として、生涯学習施設建設候補地が嘉平山になるのは反対というものだった。その後1回目のパブリックコメントで嘉平山が良いという意見が約10%、2回目のパブリックコメントでも約10%、新聞記事の市長選出口調査でも約10%となった。誰に聞いても10%程度のものが、審議会では15人のメンバーで嘉平山に場所が決まった。3月の議会で一般会計予算が賛成多数で可決されたが、市政運営を進めるための賛成で嘉平山への賛成ではないと捉えてよいのか。

⇒議員 予算に対する賛成反対の話の前に、審議会条例を審議する際、場所のほかに整備内容についても審議することとで賛成し、アンケート調査の検討もしてほしいという旨を議会として要望したが、結果として現在の形で答申がされた。嘉平山に対する判断を議会に委ねて賛否するのであれば反対もできるが、今回は審議会に委ねている。また、基本設計に対する予算には賛成も反対もないだろうという判断になった。嘉平山に決まったから基本設計予算に反対するのはいかなものか。

⇒参加者 建設場所を嘉平山に賛成することと、予算に賛成することは別と考えるが、予算に賛成した議員は嘉平山に賛成したと思ってしまう。それぞれの考えを聞きたい。

⇒議員 反対である

⇒議員 どこでもよい

⇒議員 賛成

⇒議員 反対

⇒議員 嘉平山しかないと思う。

⇒参加者 市に生涯学習施設の建設地についてのアンケート調査を実施してほしいが、やらないとなった以上、他の手立てとして議会で実施してほしい。

⇒参加者 嘉平山の現地を確認した方はいるかと、午前中のまちづくり委員会の場で参加者に問うたら議員以外はいなかった。場所が決定したのなら、市民に公開するなどすべきと思い、事務局に問い合わせたが危ないからダメと言われた。市民が現地を見たいと言ったら見せてもらえるような構図を作してほしいと思っている。

⇒参加者 審議会を4回とも傍聴したが、私は嘉平山に賛成だ。理由は漠然としていて、国道7号線に近いと、中条中学校区以外の人も利用しやすいのではないかと考えた。

⇒議員 アンケートに関する審議はどのような感じだったか。

⇒参加者 アンケートを実施するかしないかの諮問に対し、委員皆さんの意見をお聞かせくださいという後に、一人の委員が議事録にある通り「アンケートは実施すべきでない、回答するだけの意向に限定されるから」とか「施設への理解や立場が違う人がいる中で共通認識を持つことは難しく、その結果をどのように受け止めてよいか判断ができない」といった否定的な発言を行い、それが大きく影響したように感じた。

6 閉会挨拶 坂上清一（14時50分）